

# 川島小学校・くぬぎ台小学校 小規模校対策検討委員会ニュース

発行日：平成24年1月20日

発行：検討委員会事務局

## 第5回検討委員会 開催

☆平成23年12月20日(火)19時00分から  
西谷中学校・会議室にて  
検討委員33名中25名出席

### 第5回検討委員会

#### 「議題」

- (1) 両校の交流について  
・球技大会 ・PTA交流
- (2) 統合時期について
- (3) 通学安全について
- (4) 通学区域の調整について
- (5) 学校名のアンケート結果報告



### 確認事項

- 統合校の開校時期については平成25年4月を目標とすることを確認しました。  
(平成24年3月末までに、今後の状況を考慮して統合時期を決定します。)
- 通学安全について、想定される通学路を、1月17日に現地を両校の関係者と共に点検し、検討委員会に報告することを確認しました。
- 統合校の通学区域について事務局より次の提案を行い、今後、提案を基に検討することになりました。
  - ①鶴ヶ峯小学校または市沢小学校との「特別調整通学区域」については、両校の施設上の理由から難しいため設定しないこととする。
  - ②統合年度に限り、交流期間の状況等により、配慮が必要な児童に対しては、鶴ヶ峯小学校または市沢小学校への「指定地区外就学」で対応する。
- 次回の検討委員会で統合の形態を明確にしたうえで、学校名等を検討してまいります。

### くぬぎ台小学校・川島小学校 保護者説明会報告

・主な質問と回答・

く：くぬぎ台小  
川：川島小 事：事務局

- くぬぎ台小学校 保護者説明会(概要) 12月11日(日) 出席者：35人(内：教員13名)
  - (く) くぬぎ台小と川島小の間の温度差が大きい。それを近づけるにはどうしたらいいのか？
  - (事) 意識の差はこちらでも実感しています。川島小でもこのような機会を作り、意見を聞いていくつもりでいます。校舎は川島小を使うが、中味は変わるのだということ。また、くぬぎ台小の子どもたちにも、川島小の校舎を使うけれど、新しい学校を作るのだという気持ちを持ってもらえるよう働きかけていきたいと考えています。
  - (く) 新校歌、校章、校名にしてほしい。そうすることによって両校の保護者間の意識の差が埋まっていくと思う。
  - (事) 検討委員会での今後の話し合いによる結果がどのようなものであれ、子どもたちのケアは大切に行かなければならないと考えています。校歌・校章・校名がどうなろうと、くぬぎ台小の歴史は統合校に受け継がれていき、どちらかがなくなり、どちらかが残るということではありません。
  - (く) 今後入学する子どもたちのためには、統合の時期を早く決めて欲しい。
  - (事) 交流するにしてもゴールを見据えて行うかどうかで効果も異なると考えています。本日このような意見が出たということなので、早急に検討委員会でも話し合っていきます。そのためにもお互いの不安も解消できるように話を進めていきたいと思えます。
  - (く) 校長先生や先生方をそのままくぬぎ台小のスタッフにしてほしい。
  - (事) 統合による子どもの負担が一番大きいのは明らかなので、その負担を減らすために、円滑な学校運営のために、適切な教職員人事を行いたいと考えています。これまでの例では、対象校の教職員を一定割合配置しています。
- 川島小学校 保護者説明会(概要) 12月17日(土) 出席者：11人(内：教員3名)
  - (川) 「川島小の通学路が危険」と言われているが、何処が危険なのか具体的になっていない。
  - (事) 通学路については実際に何処が危険かというのはイメージが先行している部分があると思います。事務局としては年が明けてから、両校のPTAや校外委員と一緒に想定される通学路について現状を確認する機会を持ち、危険な個所について洗い出していきます。
  - (川) 「くぬぎ台小だから」という事で不安な事があると聞いているが、逆に「川島小だから」という意識も持たないでほしい。川島小としては統合に向けて「一緒に新しい学校をつくっていこう」という気持ちでいる。
  - (事) いままで、双方がやり取りのない中で不安な気持ちになってしまっていると思われる。顔を合わせ、思っていることを話し合い、お互いを知り合いながら交流を進めていただければと思います。
  - (川) 統合時期を決めたいというのはどういう理由なのか。
  - (事) 統合時期という目標を決める事で、意識も変わり、目的意識を持って統合について進めることができるのではないかと考えています。
  - (川) 根も葉もない噂で右往左往してお互いに苦しんでいる部分がある。ある程度のマナーは必要ではないか。
  - (事) 噂については注意が必要だと考えているので、検討委員会でも節度ある対応を心掛けるようにしていきたい。

# くぬぎ台小学校・川島小学校の交流について報告



## ○球技大会（親善球技交流会）について 12月12日（月） 川島小学校で開催

球技大会は以前から行っていたが、会場の安全確保のために保護者の参観を保土ヶ谷区の方針で原則認めていなかった。しかし、こういう機会を大いに役立てて行こうということで、交流の第一歩という想いもあり、両校の保護者に参観を呼びかけた。残念ながら平日午後の実施となってしまったが、多数の保護者が参観に訪れてくれた。

5年生がバスケットボールとサッカーで交流した。子どもたちは仲良く試合をしていて、試合の後、子どもたちに話を聞いたところ、「とても楽しかった」「隣の学校の子どもたちと試合が出来てよかった」という感想だった。これから統合という事を子どもたちも知っているが、これなら仲良くやっつけていけそうだと話していた。

## ○PTA交流について 12月13日（火） 川島小学校で開催

川島小の子どもたちの普段の様子も見てもらうために平日に両校のPTA本部同士の交流を行った。中休みの大縄大会の練習の見学。授業風景の見学をした後に、くぬぎ台小で行われた保護者説明会の報告をしてもらい和気あいあいとした雰囲気の中意見交換を行った。次はくぬぎ台小で交流会を開くことになった。

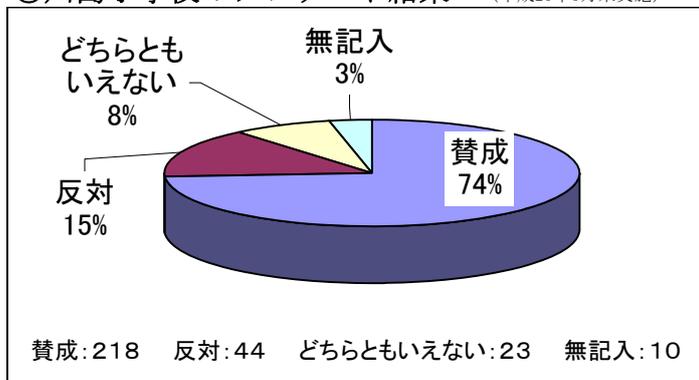
### ◎今後の交流について（くぬぎ台小学校より）

2月4日の土曜日にくぬぎ台小学校で「ふれあいフェスティバル」というクラス単位の学習発表会を行います。毎回、くぬぎ台小学校の地域の皆様に招待状を出して見に来ていただいています。今回、川島小学校の子どもたちにもお手紙をお送りして招待しますので、土曜日ですが、よろしかったらご来校ください。

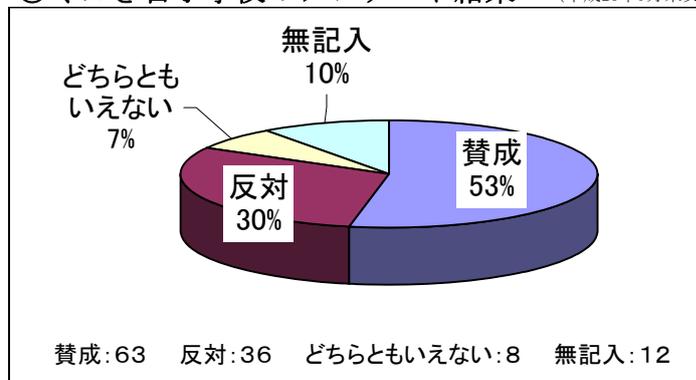
## 統合時期について

過去の事例として、1年目に検討委員会設立、教育長に申請、2年目に両校交流（様々な行事を通してコミュニケーションを図る）、3年目に統合というようになっていくようです。上記のスケジュールの場合、再来年の平成25年に統合となりますが、その対応に、「賛成・反対」。

### ◎川島小学校のアンケート結果（平成23年8月末実施）



### ◎くぬぎ台小学校のアンケート結果（平成23年9月末実施）



### 平成25年度統合の場合

- ・両校の交流期間が1年
- ・両校の現5年生卒業後の統合（現1年生～4年生）

### 平成26年度統合の場合

- ・両校の交流期間が2年
- ・両校の現4年生卒業後の統合（現1年生～3年生）

## ●統合時期についての主な発言と回答

- ・平成25年は適切だと思うが、現時点では決定とはせずに目標として定めるのが良いのではないかな。
- ・通学安全とも関わってくると思うが、通学路の安全点検の具体的な日程は決まっているのか。
- 通学安全の点検は、年明け1月17日に両校の保護者に協力していただいで行う予定です。
- ・平成25年というのは平成25年4月の新学期から開校と考えるのか。
- おっしゃるとおり、平成25年4月1日に統合校開校という事になります。
- ・とりあえずの目安として25年の4月を統合時期とするのがいいのではないだろうか。
- ・子どもたちの交流、保護者の交流をどんどん進めていった方がいいと思う。交流を進めていながら、わだかまりを溶かしていくことが大事。到達点として、平成25年スタートを切れる状況になれば、ベストではないかという事を念頭に置いて努力していければと思う。
- ・平成25年を目標に決めて、統合時期はやっぱり平成26年がいいとなった場合変わるのか。今回はあくまでも目標という事でもいいのか。
- 今回は、平成25年4月1日を統合校の開校とすることを目標にするという事で統合時期を確定するものではありません。今日の結果を持ち帰ってもらい、次回結果を報告してもらっては構いません。ただし、いつまでも目標という訳にもいかないで、少なくとも平成24年3月末には統合時期を平成25年か26年か決める必要があります。
- ・目標がないと、統合までの時間がただ長くなるだけなので、努力目標を設定して進めていければいいと思う。



○統合校の開校時期については平成25年4月を目標とすることを確認しました。

（平成24年3月末までに、今後の状況を考慮して統合時期を決定します。）

## 通学安全について

通学安全について、くぬぎ台小学校の学区から統合校（川島小学校）への想定される通学路について、来年1月17日（火曜日）に現地を両校の関係者と共に確認します。その後、参加者で検討をしていただき、結果を検討委員会に意見として提出してもらいます。



## 通学区域の調整について

現くぬぎ台小学校通学区域の一部地域においては、統合により近隣校である鶴ヶ峯小学校や市沢小学校の方が、通学距離が統合校よりも近くなる場所があることから、両校の現状について確認し、関係する小学校の校長から意見をもらいながら、検討委員会事務局で対応策について検討いたしました。

検討の結果、特定の地域に、学校を複数校から選択できる「特別調整通学区域」※1を設定することは、両校の施設上の理由から難しいことがわかりました。しかし、統合という特殊な事情により、特別な配慮を必要とする児童に対応する必要があると考えます。

そこで、検討委員会事務局としては、「統合年度に限り、交流期間の状況等により、配慮が必要な児童に対しては、鶴ヶ峯小学校または市沢小学校への「指定地区外就学」※2で対応する」という案を提案します。

### ◎ 鶴ヶ峯小学校推計

現在使用可能な教室数は19教室で、平成23年度推計は次の表のとおりです。  
平成27年度には学区内の児童だけで教室に余裕がありません。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
児童数	567	572	568	564	588	589	601
学級数	18	18	18	18	19	20	20



### ◎ 市沢小学校推計

現在使用可能な教室は13教室で、平成23年度推計は次の表のとおりです。  
平成25年度には学区内の児童だけで教室に余裕がありません。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
児童数	382	384	381	392	394	404	406
学級数	12	12	13	13	12	13	13



検討委員会事務局から提案

- 鶴ヶ峯小学校または市沢小学校との「特別調整通学区域」※1については、両校の施設上の理由から難しいため設定しないこととする。
- 統合年度に限り、交流期間の状況等により、配慮が必要な児童に対しては、鶴ヶ峯小学校または市沢小学校への「指定地区外就学」※2で対応する。

### ※1 特別調整通学区域とは

就学・入学先の学校の選択肢が増える制度です。特別調整通学区域が設定されると、設定日以降にお子さんが新たに就学・入学する場合、指定校と受入校のいずれかを希望により選択できます。  
(注：特別調整通学区域の設定には、学校の施設及び通学路の状況等を考慮する必要があります。)

### ※2 指定地区外就学とは

横浜市では、住民登録している住所地により通学区域を定め、指定された学校に通学することが原則となっており、同じ通学区域にお住まいのお子さんは同じ学校に通学していただくこととなります。しかし、お子さんに個々の事情がある場合には、指定された学校以外の学校に通学することができる「指定地区外就学」という制度があります。



○次回の検討委員会で事務局の提案を基に検討を進めます。



読み	名前	応募総数	児童による 応募数	主な理由
かわしま	川島(川嶋)(かわしま)	432	(209)	古くから地域の名称として「川島」がある。川島町にある。歴史がある。親しみがある。「川島」より親しみをもってひらがなで「かわしま」。
にしや	西谷	118	(45)	最寄駅名。中学校と同じ名前。場所がわかりやすい。
かわしまだい	川島台(川島大)	42	(25)	川島地区の高台にあるから。両方の名前をとり入れて。
かわしまくぬぎだい	川島くぬぎ台	32	(21)	両校の名を残してあげたい。2つの学校が一緒になるから。
くぬぎしま(じま)	くぬぎ島	24	(22)	二つの名前を合体した。
かわしまくぬぎ	川島くぬぎ	22	(14)	2つの小学校の名前を残すため。両方の校名を使用して互いの歴史を忘れない。
くぬかわ	くぬ川	19	(13)	両校からとって平等に。
かわだい	川台	16	(14)	二つの学校の一文字ずつを取った。
じんがした	陣ヶ下	13	(4)	横浜で唯一の溪谷が近いから。
くぬぎかわしま	くぬぎ川島(棚川島)	11	(9)	一緒になるなら二つの名前を入れた。方がいい
しんかわしま	新川島(真川島)	10	(2)	新しい川島小ということ。
くぬぎかわ(がわ)	くぬぎ川	9	(9)	くぬぎ台小のくぬぎと川島小の川を取ってくぬぎ川。
くぬしま	くぬ島	9	(8)	くぬぎ台の最初の二文字と川島の最後の二文字を合せた名前です。
かわくぬ	川くぬ	6	(6)	川島の「川」とくぬぎの「くぬ」を入れて。
くぬぎだい	くぬぎ台	6	(5)	場所は川島なのでくぬぎ台のほうが一緒になった事がわかりやすい。
しまだい	島台	6	(5)	「川島」の「島」と「くぬぎ台」の「台」をくっつけて。

※3票以下と選定対象外(市内の他の小学校と同じ等)の応募案については紙面の都合上省略いたします。

※「川島」と「くぬぎ台」の一部または全部を組み合わせた応募が225票ありました。

## その他

### ●統合の形態について

- ・統合については様々な形態を考えることができるので、学校名等を決めるにあたって統合の形態について明確にしてもらいたい。納得できる理由を検討委員会で決めてほしい。
- ・統合に対する考え方がまとまっていないと、何かを決めるにあたり前向きに話を進めることが出来ない。
- ・基本的な考え方で混乱しているのではないか。白紙や対等という言葉は立場によってとらえ方が違うため、様々な解釈が出来てしまう。



○次回の検討委員会で統合の形態を明確にしたうえで、学校名等を検討してまいります。

### 【第6回検討委員会の日程】

★平成24年2月2日(木) 19時00分より 西谷中学校 会議室にて

(検討予定内容)

1. 通学安全について
2. 通学区域の調整について
3. 統合の形態について
4. 学校名について
5. その他



「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧いただけます。

- ・基本方針など <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoiku-info/gakku-houshin.html>
- ・「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会 <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/>



「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会では、常に皆さまからのご意見を受付しております。FAXかEメールにて、事務局(学校計画課)までご連絡ください。

\*「川島小学校・くぬぎ台小学校」  
小規模校対策検討委員会事務局 (学校計画課)

TEL:045-671-3252 FAX:045-651-1417  
Eメール: ky-hodogaya@city.yokohama.jp

